



樺原中だより

学校教育目標 「仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成」

京都市立樺原中学校

学校だより⑦

令和7年(2025)10月30日

校長 川上 貴由

★★体育大会が行われました★★

10月10日(金)に体育大会を開催しました。大会当日は、青空が広がる晴天となりました。天候にも恵まれ、全力で取り組む生徒の姿は、観戦する者に元気や感動を与えてくれました。樺原中学校の生徒達に素晴らしい可能性を秘めていることを実証しました。そして、何より生徒たちのたくさんの笑顔を見られたことは、この上ない喜びでした。

今年度の体育大会は、昨年度までの流れを一旦整理して、学年別対抗などオーソドックスな形で運営しました。来年度以降、この形に様々な工夫を取り入れていきたいと思います。観客席につきましても、観覧スペースが狭い状態でしたのでグラウンドのレイアウトも含めて変更していきます。

大会当日は、ご多忙にも関わらず多くの来賓の方々、保護者の方々にご参観いただいたことは、生徒たちの励みとなったことだと思います。また、PTA本部役員の皆様におかれましては、暑い中、運営にご協力をいただき、誠にありがとうございました。



【徒競走】



【学年種目 縄引き】



【学年種目 大縄跳び】



【学級対抗リレー】



【部活動対抗リレー】

「総合成績」

	優勝
1年生	1・4組
2年生	1・3組
3年生	1・3組

♪♪ 合唱コンクール ♪♪



10月15日(水)に、京都コンサートホールで合唱コンクールを実施しました。ホールは歌声が響き渡りどのクラスも感動する歌声でした。その歌声に生徒のみならず教職員も感動していました。コンクール後に涙を流す生徒もいるなど、コンクールに向けてひたむきに頑張った姿を感じ取ることができ、合唱の素晴らしさを再確認しました。コンクールの最後、生徒に向けて講評を行いましたが、本校の合唱は非常にレベルの高いものでした。1年生・2年生は、この伝統を継続して欲しいと思います。



金賞

1年1・2組

2年1・5組

3年6組

体育大会には471名、合唱コンクールには559名の保護者の皆さまに参観して頂きました。合唱コンクールでも、PTA本部役員の皆さまにおかれましては受付などのご協力を頂きました。重ね重ねありがとうございました。

全国学力・学習状況調査の結果

9月号に引き続き3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」についての結果と考察を報告いたします。

■理科

思考の中でも探究的な思考に強みがあることが、本校の理科における学力調査結果から明らかになりました。特に、記述式の問題で全国平均を上回る正答率を示したことは、日頃の授業で取り組んでいる記述による思考力の育成が成果として表れている証拠です。仮説の検証や課題設定、振り返りの表現など、生徒自身の考えを言語化する力が着実に育ってきています。

一方で、選択式の問題においては全国平均を下回る傾向が見られました。これらの問題は、文章量が多く、情

報量が豊富であるため、複数のデータをじっくり読み解き、関連性を見つける力が求められます。今後の授業では、情報を整理し、比較・分類しながら関係性を見出す活動を重視し、分析的な思考力の育成に力を入れていく必要があります。

分野別では、物理分野においては全ての問題で全国平均を上回る正答率を示しており、理解が深まっていることが分かりました。化学や生物分野では全国平均と同程度の結果でしたが、地学分野では3つの設問について全国平均を下回るなど、地学分野における課題が見られました。

なお、地学分野については、夏休みの宿題を通じて定着を図る取り組みを進めており、今後の成果が期待されます。

今後は引き続き、分析的な思考力の育成を重点的に進めています。具体的には、複数の情報を整理・比較し、関係性を見出す力をのばすために、図表や実験結果などのデータを活用しながら、「なぜそうなるのか」「どのような関係があるのか」を考える場面に力を入れます。

また、地学分野の理解定着に向けては、夏休みの宿題や地域の自然環境と関連付けた学習を通じて、時間的・空間的な見方を育てる活動を継続していきます。

一方で、探究的な思考力や記述力は着実に育ってきており、今後も継続的に伸ばしていくべき強みです。生徒が自分の考えを言語化し、他者と共有する場面を多く設けることで、さらに深い学びにつなげていきます。

■生徒質問紙

本校では、「仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成-挑戦する15才-」を学校目標とし、この目標を達成するために、目指す生徒像を「挑戦を支える仲間がいること」「挑戦を支える学力があること」「挑戦を支える自己有用感が持てていること」としています。これらをもとに生徒質問紙より分析を行いました。回答は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の合計の差から、分かったことを考察しました。

「挑戦を支える仲間がいること」

質問(38)「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」や、(13)「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では、-11ポイント・-4.7ポイントと大きく差が開きました。「主体的・対話的で深い学び」を重視した4人班による学習形態を継続して行う一方で、班活動での役割分担や、教師の質問の工夫など、さらなる深化が必要だと考えられます。

「挑戦を支える学力があること」

各教科(国語・数学・総合)に関する質問や、学力を支える環境や、学びに関する質問では、どれも、全国平均を

5ポイント以上、上回っており、学習環境や、生徒自身が学びに向かう姿勢が高いことが分かりました。

「挑戦を支える自己有用感が持てていること」

質問(31)「1,2年の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」では、全国平均を6ポイント上回っており、相手にうまく伝わる工夫をするなど、相手意識を持って、学習内容を表現する工夫をするなど、グループ学習の成果が見られていることが分かりました。

■ ■ ■ 生徒・児童画展 ■ ■ ■

西京少年補導委員会主催の「生徒・児童画展」に本校の生徒作品が西京区役所に展示されました。展示された3作品のうちN. Sさん(2-8)の作品が佳作に入賞しました。



【H. Mさん(1-6)】【N. Sさん(2-8)】【M. Aさん(3-4)】

♪♪ オータムコンサート ♪♪

10月12日(日)に、体育館で吹奏楽部のオータムコンサートが行われました。3年生部員にとっての引退コンサートでもありました。京都府吹奏楽コンクールで金賞をいただいた“いつも風巡り会う空”をはじめ4曲を演奏しました。アンコールでは“ありがとう”を演奏し大いに盛り上りました。最後は、引退する3年生1人1人からのメッセージがあり、見た者が感動する素晴らしい時間が流れました。



陸上部(京都市駅伝大会)

10月11日(土)に、たけびしスタジアム京都で京都市駅伝大会が行われました。この大会の上位校は11月8日(土)に行われます京都府駅伝大会に進出し、この大会での優勝校は全国大会に出場します。女子の部では、5区間で全員が5位以内と安定した走りで準優勝、男子の

部でも第3位と好成績を収めました。他競技でも2年生を中心とした秋季大会が開催されています。大会の結果は、11月号で紹介させて頂きます。

